

(様式1)

平成 27 年 3 月 25 日

陸前高田市議会議員 伊藤 明彦 様

会派名 新政会  
代表者職氏名 会長 佐藤 信一



### 政務活動概要報告書

政務活動費に関する取扱要綱第6条第2項の規定により、平成26年度政務活動の状況について報告いたします。

#### 記

#### I. 調査事業(その1)

- (1)実施日 平成26年10月6日(月)～8日(水)  
(2)場 所 新潟市・佐渡市  
(3)参加者 会長 佐藤 信一、顧問 小松 眞、 2名  
(新志会 菅原 悟、佐々木一義、鵜浦昌也、菅野 稔、伊藤明彦5名同行)  
(4)欠席者 事務局 清水 幸男 1名  
(5)行 程

10月6日(月) 陸前高田市7:30発→一関9:35→大宮11:30→新潟13:21  
航空自衛隊新潟分屯基地海難隊(視察)  
万代橋・新潟市美術館・北方博物館・日本海タワー・新津記念館・  
新潟県政記念館 新潟市内泊  
10月7日(火) ホテル9:30→新潟港10:20→両津港11:25→両津市役所(研修)  
航空自衛隊佐渡分屯基地(訪問)  
佐渡金山・トキの森公園 両津市内泊  
10月8日(水) ホテル9:00→両津港10:00→新潟港11:15→新潟12:13→  
大宮14:02→一関16:10→陸前高田市18:00

#### (6)調査項目

- 1)航空自衛隊新潟分屯基地救難隊の救難・救助について
- 2)佐渡市の中越地震による風評被害と観光対策について
- 3)航空自衛隊佐渡分屯基地第46警戒隊の国防・支援について

#### (7)調査の概要

- 1)航空自衛隊新潟分屯基地救難隊の救難・救助について



視察先 新潟市 航空自衛隊新潟分屯基地海難隊

新潟救難隊 総括班長 厨子和範 3 等空佐

航空救難団の任務として

- ※事故航空機の搭乗員の捜索救助(救難業務)
  - ※人員及び装備品等の空中輸送 (空中輸送業務)
  - ※救難業務及び空中輸送業務に関する(教育訓練)
  - ※国民の生命及び財産等を守るための(災害派遣)
- プロジェクターで丁寧に説明を受けました。

さらに、格納庫では救難救助機(UH-60J)や救難捜索機(U-125A)の性能・諸元の説明があり、実際に機内に搭乗し捜索・救出方法等の説明を受けてまいりました。

また、東日本大震災の際は、いち早く被災地へ駆けつけていただきましたことに対し敬意と感謝を申し上げてまいりました。

その後、北方文化博物館に立ち寄り全国的にも有数の規模を誇った越後千町歩地主「伊藤家」在りし日のままの豪壮な館に、美術品・民芸品・考古資料を多彩に展示なされ、まさに着地型観光の見本となる施設を研修させていただきました。

その後、(株)栗山米菓ホテル朱鷺メッセ(株)の 31 階にある Befco(ベフコ)ばかうけ展望台にのぼり新潟市全貌が見られる施設を見学いたしました。

夕方に入り本町 6 番町商店街振興組合の万代橋近くの庶民の台所、本町市場を見学し、まさに今後想定している長部漁港周辺への「フィッシャーマンズワーフ」のお手本となる施設を見学しました。

## 2)佐渡市の中越地震による風評被害と観光対策について

視察先 佐渡市 市議会

新潟県佐渡市議会議長 根岸勇雄氏 議会事務局長 源田俊夫氏  
佐渡市役所観光振興課課長補佐 越前範行氏が対応

### ①佐渡市の概要

佐渡市は平成 16 年 3 月 1 日 7 町 2 村が合併、面積が 855 km<sup>2</sup> 周囲 280 km 最高峰 1,172m 人口 61,325 人、高齢化率 37.7 歳

### ②地域産業の低迷

市内総生産は、平成 16 年では 2,239 億円だったのが、平成 22 年には 1,913 億円と 326 億円の減となり、さらに拍車をかけている。

### ③佐渡観光について

豊富な観光資源

- ・世界農業遺産(GIAHS) 小倉地区の棚田(千枚田)
- ・佐渡を世界文化遺産に 佐渡金山・道遊の割戸
- ・佐渡を世界ジオパークに 佐渡小木海岸・神子岩(日本地質百選)

- ・歴史伝統文化 鬼太鼓・妙宣寺
- ・豊かな自然 洞爺湖サミット会場に展示された杉の巨木群
- ・トキ野生復帰 36年ぶり自然界でのヒナ誕生(平成24年4月)  
38年ぶり自然界でのヒナ巣立つ(平成24年5月)

④佐渡の評価・佐渡観光の入込客数・方面別入込客の推移・外国人入込客の推移・観光客の入込みは、7～8月の夏季にピーク、広域連携による観光・食に関する取り組み・(参加・体験型)観光・(トレッキング)・(スポーツ観光)・フィルムコミッションによる映画番組誘致・佐渡の教育旅行受け入れの現状・教育旅行の取り組み・電動アシスト自転車導入について・

⑤佐渡航路について

佐渡航路の概要 ・就航船 ・新潟～両津航路 新造船「ときわ丸」・小木～直江津航路 新造船のイメージ・

⑥佐渡空路について

滑走路の2千メートル化が必要な理由・佐渡新潟航空路線について

⑦佐渡観光の課題と今後の動きについて

◎佐渡観光の課題

◇観光による経済効果の市民への理解

◇島内産農林水産物の提供

◇着地型観光

・観光客のニーズ把握と着地型観光プランの発掘・組み立て

・地域と結びついた佐渡ならではのプラン、着地型プランと観光客ニーズのミスマッチの解消

◇観光客の季節変動が大きい

◇観光客入込の夏期ピークと冬期オフシーズンの変動が大きく、観光施設での通年雇用が難しいため、サービスの質維持、向上が困難、バス・レンタカーについてもオフシーズンが長く、その分の経費をピーク時に上乗せせざるを得ない。

◇季節変動に対応したおもてなし研修、通年観光への取り組み。

◎効果的な観光 PR

・データ分析によるターゲットを絞った効果的な観光 PR

・トキなど全国的な話題に合わせた戦略的な観光 PR

・観光関係者による戦略的な PR

◎宿泊施設の更新

・平成3年頃の観光客入込のピークに併せて、島内宿泊施設は大型化したが、その後の観光低迷で施設投資が遅れている。

・おもてなし向上、佐渡産品の活用による宿泊サービスの高付加価値化。

◎観光統計

・観光施設のベースとなるデータ収集

⑧佐渡観光の今後の動き

◇カーフェリー「おおさど丸」(新潟一両津)の代替船就航・船賃の低廉化へ

◇新潟ディスティネーションキャンペーン

◇H25 春プレ DC、H27 春アフタ DC

◇北陸新幹線開業(H27 春予定)

◇小木直江津航路のあり方(高速カーフェリー)

◇佐渡周遊型観光(直江津～小木～両津～新潟)

◇北陸・近畿・長野・関東からの集客

◆世界遺産の登録・認定

・世界農業遺産(GIAHS)認定(H23年6月)

・日本ジオパーク認定(H25年9月)

・世界ジオパーク登録(H28年目標)

・世界文化遺産登録(H29年目標)

⑨新たな施設整備による魅力発信

・両津港北埠頭地区を再開発し、「佐渡インフォーションセンター」のオープンを目指して整備計画を進めている。

・施設の概要

・佐渡汽船両津港ターミナルから徒歩5分の位置にあり、観光情報機能と約300人を収容する多目的ホール、様々な用途に使える催事スペース。

・佐渡の歴史文化等の伝承の展示室を備えた施設と約6,000㎡の緑地広場を一体的に併設する。

⑩平成26年度 観光振興課の事業施策について

将来ビジョン成長力強化戦略指標の実現

平成31年の目標

・延べ宿泊数 49万2千泊/年・リピート率55%・着地型利用者2万人/年・

観光文化施設満足度67%・観光入込数70万人/年・平均宿泊日数1.61泊・

・修学旅行人数1万9千人/年・外国人観光客5千人/年・合宿誘致延泊数7千泊/年

⑪ 目標事項

1. 2つの新幹線を活用した周遊型広域観光として「佐渡ブランド」を確立。

2. 滞在・体験型観光の確立に向けたアクティビティ群の整備・活用。

3. 地産地消の推進と宿泊満足度の向上。

⑫佐渡を世界文化遺産に

「金を中心する佐渡鉾山の遺産群」、道遊の割戸…大立堅坑

⑬佐渡を世界ジオパーク(地質の世界遺産)に

「金と銀の島」佐渡でたどる日本海3000万年、佐渡島300年の旅と人の暮

らし、佐渡金山・青盤脈岩壁(日本地質百選)、佐渡平根崎・波蝕甌穴群(日本地質百選)

### 3) 航空自衛隊佐渡分屯基地第46警戒隊の国防・支援について

※航空自衛隊佐渡分屯基地へ訪問

第46警戒隊長兼佐渡分屯基地司令 土肥弘昌 二等空佐

第46警戒隊副隊長兼総括班長 平形大将 三等空佐

佐渡分屯基地 広報係 児玉春彦 2等空曹

が視察研修に対応していただきました。

土肥基地司令氏へ訪問、先の東日本大震災に対する災害派遣に対し、敬意と感謝を申し上りました。

・基地の会議室で基地の規模や基地の任務について説明があり。

その内容は、

- 1.日本海方面の警戒監視
- 2.冬期除雪
- 3.災害派遣への対応(訓練と活動)

その後、山頂に設置されているレーダーを視察させて戴きました。

レーダーは、六角柱の建物の3つの側壁にそれぞれ巨大なレーダー面があり、その円形の覆いの模様が亀の甲羅の様から、「ガメラレーダー」と呼ばれている。

施設見学終了後、世界遺産を目指す佐渡金山の道遊の割戸や大立堅坑、相川郷土博物館・技能伝承館・史跡佐渡金銀山遺跡御料局佐渡支庁館等視察、さらに世界農業遺産(GIAHS)となっている小倉地区の棚田(千枚田)を視察し、陸前高田市の着地型観光の推進の糧となるよう研修をさせていただきました。

### 4)その他

## II. 調査事業(その2)

(1)実施日 平成27年3月22日(日)~23日(月)

(2)場 所

- ◇津波慰霊碑 … 九戸郡洋野町小子内
- ◇大鳥居とかえでの木…九戸郡野田村大字野田
- ◇北山崎
- ◇宝福寺…下閉伊郡田野畑村田野畑 149-1
- ◇カルボナードしまのこし駅…下閉伊郡田野畑村第1地割松前沢
- ◇御蔵山…下閉伊郡山田町八幡町

◇鵜住居メモリアルパーク…釜石市鵜住居町

◇私設こすもす公園…釜石市甲子町洞泉

◇津波記憶石…大船渡市三陸町吉浜上野

(3)参加者 会長 佐藤 信一、顧問 小松 眞、事務局 清水 幸男 3名

(4)欠席者 なし

(5)行程

3月22日(日) 高田市役所→釜石自動車道鱒沢インター→東北自動車道花巻 Jct  
→八戸自動車道八戸 Jct→八戸 IC→八戸環状線国道29号→四本松交差点右  
折国道45号へ→階上町→洋野町小子内

◇津波慰霊碑 … 九戸郡洋野町小子内

→久慈市内泊(久慈第一ホテル)

3月23日(月) ホテル 8:30 発(自家用車にて移動)

↓

◇大鳥居とかえでの木 … 九戸郡野田村大字野田

◇北山崎

◇宝福寺 … 下閉伊郡田野畑村田野畑 149-1

◇カルボナードしまのこし駅 … 下閉伊郡田野畑村第1地割松前沢

◇御蔵山 … 下閉伊郡山田町八幡町

◇鵜住居メモリアルパーク … 釜石市鵜住居町

◇私設こすもす公園 … 釜石市甲子町洞泉

◇津波記憶石 … 大船渡市三陸町吉浜上野

↓

◇ 陸前高田市役所 18:00 着

(6)調査項目

1. 東日本大震災県内ところのみち被災地巡礼地視察

(7)調査の概要

東日本大震災県内ところのみち被災地巡礼地視察

1) 津波慰霊碑 … 九戸郡洋野町小子内

この津波慰霊碑は、昭和9年3月3日に当時の東京朝日新聞社の善意のもとに  
建立され、当地域の津波教訓の碑と酷似している事が特徴である。

2) 大鳥居とかえでの木 … 九戸郡野田村大字野田

野田村神社の入り口に当たる大鳥居とかえでの木は、河川を面していることも  
あり、津波の遡上により浸水された地域にあり、津波襲来時は奥にある神殿の  
社屋が地域住民の避難所となったとの事である。

3) 宝福寺 … 下閉伊郡田野畑村田野畑 149-1

田野畑村唯一の寺院にあたり、被災者のより所となっているとの事である。

4) カルボナードしまのこし駅 … 下閉伊郡田野畑村第1地割松前沢

田野畑村島越地区は、津波により住宅2戸を残し120数戸すべての家屋を流失した、この事を物語るためにも、津波の恐ろしさを伝える施設として指定されたものと思う、現在は建物の再建復旧も進み、北リアス線の鉄道業務や津波伝承の施設として利用されている。

5) 御蔵山 … 下閉伊郡山田町八幡町

山田町は、津波により壊滅的な被害を被った地域でも知られているが、震災当時、街中の唯一の旧役場跡地が町民の命を守った小高い跡地として、鎮魂の場ともなっている。

6) 鵜住居メモリアルパーク … 釜石市鵜住居町

同地区も、津波の壊滅的な災害を被った地域であるが、流失した寺院を再建するなど、その周囲を対象に鎮魂の場として整備を進めようとしている。

7) 私設こすもす公園 … 釜石市甲子町洞泉

震災以降から、子供たちの健全育成と遊び場の提供に積極的に努めている施設で、多くの子供たちが集まる場所となっている。

8) 津波記憶石 … 大船渡市三陸町吉浜上野

吉浜川の河口にある大岩であるが、過去の津波により海中から陸に持ち上げられたとされている。当時の刻印もされており後世に残す津波石として大切に伝承されたい。